



日独交流150周年
Jahre Freundschaft
Deutschland-Japan

国際シンポジウム

戦争と医の倫理

侵华日军第七三一部队遗址

かつての悲惨な戦争を象徴する日本の「731部隊」、ドイツの「アウシュビッツ強制収容所」等。

戦後、日本とドイツは、人命を守るべき医師・医学者の「戦争医学犯罪」などの実態をどのように検証し、その後の医学教育や医の倫理に活かしてきたのか、その教訓と課題を明らかにします。

それは、現代の先端医学が人間の尊厳に抵触する危険性も含むだけに、今日的な問題であり国民一人ひとりに関わる課題となっているからです。

また、日野原重明氏の特別講演は、人間の生き方としての明るい展望を示すものとなるでしょう。

—ドイツと日本の検証史の比較—

International symposium "War and Medical Ethics"
— comparison of German and Japanese historical investigations of Medical war-crimes in the post-war era

日野原重明氏の特別講演

日時 2011年

参加費
無料

どなたでもご参加
いただけます

4月9日(土)

午後3時~7時

会場 東京大学

鉄門記念講堂 (医学部教育棟14階)

東京都文京区本郷7-3-1 (本郷キャンパス内)

【特別講演】午後3時~4時

演者 日野原重明氏 (聖路加国際病院理事長)

演題 「オスラーの戦争と平和に対する考え方」



【国際シンポジウム】午後4時~7時

テーマ 「戦争と医の倫理」 —ドイツと日本の検証史の比較

パネリスト Till Bastian 氏 医師、作家、平和活動家、郡会議員。
著書「恐ろしい医師たち-ナチ時代の医師の犯罪」など

刈田 啓史郎 氏 医学者、15年戦争と日本の医学医療研究会幹事長、元東北大学教授

座長 小島 莊明 氏 (東京大学名誉教授)
小俣 和一郎 氏 (上野メンタルクリニック院長)



[一般公開] (どなたでもご覧いただけます)

パネル展示 「戦争と医の倫理」

~日本の医学者・医師等の「15年戦争」への加担の実態を検証する~

・4月2日(土)~4月10日(日) 10:00~20:00 (最終日18:00まで)

会場 明治大学アカデミーコモン 1階展示コーナー (代表的資料展示とビデオ放映)
千代田区神田駿河台1-1 (駿河台キャンパス) 御茶ノ水駅徒歩3分

・4月5日(火)~4月10日(日) 10:00~20:00 (最終日18:00まで)

会場 平和と労働センター 2階ホール (全資料展示とビデオ放映、書籍紹介)
文京区湯島2-4-4 御茶ノ水駅徒歩8分

主催・連絡先

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 (新宿農協会館6階) 全国保険医団体連合会内
TEL 03-3375-5121 FAX 03-3375-1862
URL <http://AVIC.doc-net.or.jp>



共催パネル展示・連絡先

明治大学平和教育登戸研究所資料館
〒214-8571 川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス
TEL / FAX 044-934-7993
URL <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

国際シンポジウム・パネル展示 会場案内図

